

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~7日	6月 ~14日	6月 ~21日	6月 ~28日	7月 ~5日	7月 ~12日	7月 ~19日	7月 ~26日	8月 ~2日	8月 ~9日	8月 ~16日	8月 ~23日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	37	49	43	48	62	91	60	28	55	28	26	46
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	13	19	18	13	13	11	14	22	11	26	6 (7)	21
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	1	2	2	2	1	3	2	8	11	4	3	6
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	2	5	4	4	3	4	2	6	4	3	5	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	3	3	5	3	4	0	6	1	1	8	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第34週(8月17日~8月23日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		1		4		
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3	1		1				1
四類	6	重症熱性血小板減少症候群	1						1	
		日本紅斑熱	5		1	3		1		
五類全数	3	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		梅毒	1					1		
指定	14	新型コロナウイルス感染症	14	1		1		9	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第34週(8月17日～8月23日)に9件の報告があり、累計は282件となりました。引き続き、毎日の健康管理に注意し、身体的距離の確保、咳エチケット、手洗いの励行、「3密」を避けるなど、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

感染者が再び増加し始めた6月30日以降、無症状者を除く165例で最も多かった症状は、発熱(81%)、次いで倦怠感(45%)、頭痛(40%)の順でした。味覚障害・嗅覚障害(30%)も特徴の1つです。これらの症状がみられたら、コールセンターまたはかかりつけ医にご相談ください。

2 日本紅斑熱

第34週(8月17日～8月23日)に、今年初めての報告が1件ありました。日本紅斑熱は、病原体(日本紅斑熱リケッチア)を保有するマダニに咬まれることにより発症します。多くは、マダニの活動が盛んな春から秋にかけて発生し、症状の主な特徴は発熱、発しんで、ダニの刺し口がみられることもあります。山や草むらに入るときは、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を履くなど、肌を露出しないように注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症の症状

本市85例目～278例目のうち無症状者29例を除く165例



【広島市】新型コロナウイルスに関する情報／記者発表資料(8月21日)より

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリン	インフルエンザ	-	-	0.02			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.54		
小児科	咽頭結膜熱	8	0.33	0.35			小児科	RSウイルス感染症	-	-	1.25		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.25	1.34			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	感染性胃腸炎	53	2.21	3.84			眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	1.16		
	水痘	5	0.21	0.44			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	3	0.13	2.09				無菌性髄膜炎	-	-	0.06		
	伝染性紅斑	-	-	0.41				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29		
	突発性発しん	13	0.54	0.37				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.84			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	89	男性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・2人、女性(70歳代)・1人
4	日本紅斑熱	1	1	女性(70歳代)
5	梅毒	1	40	男性(20歳代)